

施策番号 2-2-1	施策名 地域文化の振興	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり			
		政策名	地域文化の形成とスポーツ環境の充実			
	主管課	社会教育課	課長名	日下勝祐	内線	517
	施策関係課	建設都市整備課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
地域における文化活動への参加を促進するとおもに、文化財などの収集・活用をすすめます。		町民	・文化・芸術を身近に感じさせる地域づくり				心豊かに暮らせるまち
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標	
① 文化活動がしやすいと感じる町民の割合	住民意識調査	%	42.2	74.3	50.0	45.0	
② 地域文化活動への参加者数	社会教育課調べ	人	1,196	1,220	1,000	960	
③							
④							
成果指標設定の考え方	①前期計画で得られなかった評価(45%超)を目標値としたもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②現状の加速する減少率を改善し下げ止まりの傾向を示すもの。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費(千円)	12,224	14,003
人工数(業務量)	0.6589	0.5721

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①芸術鑑賞会での町民による実行委員会組織の活動などに評価をいただいたと認識している。 ②町民文化展などの事業については例年同様の参加者数が確保できた。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	現在の町民参加による芸術鑑賞会の企画・実施の取組のほか、文化活動の確保とその実施にあたり、これまでに以上に町民参加を実現することで達成可能。
(2) 施策の成果評価に対する2019年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芸術鑑賞会等開催事業 芸術・文化振興支援事業 ふるさと歴史観運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・町民との連携による文化芸術活動の充実 芸術鑑賞会等開催事業では、町民参加による実行委員会組織による企画・運営により、幅広い視点ときめ細かな運営が鑑賞会参加者からの高い評価につながっている。 ・児童生徒の文化芸術振興 全国全道大会出場支援や芸術鑑賞支援は、文化活動がしやすいと感じる町民の割合への貢献度が高い。 ・多様化する文化活動への支援の在り方を再考し、文化団体会員の減少、指導者、後継者の確保という課題に対し解決策を講じていく必要がある。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞会の開催は、町民参加による内容検討委員会から発展した実行委員会組織として企画・運営を担っていただき、高評価を得ていることから、継続実施として内容充実に努める。 ・文化協会会員の高齢化と会員の減少については、引き続き協会会員との意見交換をとおして、指導者の確保、後継者不足への対応、今後の事業実施内容の見直しなど継続協議する。 ・吹奏楽活動への支援を充実するため、新たな取組みを検討する必要がある。 ・フレンドリーコンサートの充実と多くの町民に鑑賞していただく工夫が求められる。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・文化協会の活動に要する施設利用料の減免要請。

5. 施策の成果向上のための具体的な取組み(今後強化すべき取組み、新たに実施すべき取組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞会の継続開催。幅広い視点と町民ニーズの多様化に応じた企画・運営のための実行委員会組織の充実。 ・「一流を見て、聴いて、学ぶ」観点から、鑑賞会のほか、技術や取組姿勢などについて学ぶクリニックの開催。 ・文化芸術活動に対する施設利用料も含めた社会教育施設利用料のあり方検討。 ・指定管理者と連携した公民館講座の充実。 ・文化活動に必要な施設備品の計画的な整備。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	住民意識調査の選択項目減により、成果指標が大きく増加したが、地域文化活動への参加者数が策定時と比べ増えており、目標値をクリアしていることから、策定時と比較して前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	文化芸術鑑賞については、鑑賞会のみではなくクリニックの開催など「一流を見て、聴いて、学ぶ」視点での取組を進めてもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	芸術鑑賞会を実行委員会形式で実施することは、町民の声を反映できるため理想的な取組みであり、策定時と比較して前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・文化協会に入るメリットや魅力を作るなど、加入団体が増えるように工夫するべきである。 ・公民館大ホールを、もっと気軽に利用しやすくなるような仕組みを考えてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 				